

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2020.4.6	2020.4.6	2020.4.6
採取時刻			11:20	10:44	11:50
全水深(m)			21.0	15.2	15.7
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena sp.		5
2			OSCILLATORIALES		5
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	280	1025
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	200	55
5	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	23	90
6			Mallomonas akrokomos	35	130
7			Mallomonas spp.	+	5
8		黄緑藻	XANTHOPHYCEAE		5
9		珪藻	Asterionella formosa	60	+
10			Aulacoseira pusilla	45	50
11			Aulacoseira granulata		+
12			Nitzschia acicularis	10	5
13			Nitzschia spp.	15	5
14			Skeletonema potamos		10
15			Ulnaria japonica	85	5
16			Thalassiosiraceae-5	450	400
17			Thalassiosiraceae-10	170	15
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	140	65
19	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+
20			Ankyra spp.	+	5
21			Chlorogonium spp.	30	115
22			Chodatella quadriseta	20	
23			Coelastrum sp.		+
24			Crucigeniella sp.		+
25			Elakatothrix sp.	10	
26			Micractinium spp.	+	+
27			Monoraphidium spp.	130	190
28			Oocystis sp.		+
29			Pandorina morum	+	16
30			Pediastrum duplex		+
31			Scenedesmus spp.	60	20
32			Tetraedron spp.	5	+
33			Yamagishiella unicocca		+
34			CHLOROPHYCEAE	85	55
35	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+
36	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		+
37			Polyarthra spp.	1	+
38			Synchaeta spp.	+	+
39			Trichocercidae		+
40			EUROTATOREA	1	2
41	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	2	1
42			POLYHYMENOPHORA	15	5
43			CILIOPHORA	10	10
44	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	
45	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50	250
46			鞭毛藻	50	50
47			鞭毛虫	50	100

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2020.4.6	2020.4.6	2020.4.6
総数		2032	2502	1849
種類組成	藍藻	0	0	10
	クリプト藻	280	1025	170
	渦鞭毛藻	200	55	250
	黄金色藻	58	135	115
	珪藻	835	470	455
	ユーグレナ藻	140	65	210
	緑藻	340	385	401
	その他の植物性動物性	100	300	105
		79	67	133
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2020.5.11	2020.5.11	2020.5.11	
採取時刻			10:43	10:08	11:35	
全水深(m)			18.8	15.3	15.0	
採水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Dolichospermum spp.	(30)	(+)	
2			Nostocaceae	(10)		
3			OSCILLATORIALES	(+)	(+)	
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	850	230	
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	10	+	
6	不等毛植物	珪藻	Mallomonas akrokomos		10	
7			Aulacoseira pusilla		15	
8			Melosira varians	+		
9			Nitzschia acicularis	+		
10			Nitzschia sp.	5		
11			Thalassiosiraceae-5	10		
12			Thalassiosiraceae-10	160	575	
13			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	75
14	緑色植物	緑藻	Ankyra spp.		+	
15			Chlorogonium sp.	+		
16			Monoraphidium spp.	5		
17			Pediastrum boryanum		8	
18			Scenedesmus spp.	+	30	
19			CHLOROPHYCEAE	45	70	
20			節足動物	甲殻	Diaphanosoma sp.	
21			CRUSTACEA	+	+	
22	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		1	
23	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+	+	
24			多膜口	POLYHYMENOPHORA	45	20
25			-	CILIOPHORA		+
26	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	10	10	
27			鞭毛藻	10		
28			鞭毛虫		10	
総数			1265	1043	1696	
種類組成			藍藻	40	0	
			クリプト藻	850	230	
			渦鞭毛藻	10	0	
			黄金色藻	0	10	
			珪藻	175	590	
			ユーグレナ藻	75	65	
			緑藻	50	108	
			その他の植物性	20	10	
			動物性	45	30	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコムは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2020.6.9	2020.6.9	2020.6.9		
採取時刻			10:40	11:15	10:03		
全水深(m)			18.6	15.3	15.1		
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.		(+)		
2			Merismopedia sp.		(5)		
3			Nostocaceae	(+)	(+)	(+)	
4			CHROOCOCCALES			(5)	
5			OSCILLATORIALES		(+)	(20)	
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	95	75	210	
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	1	+		
8			Peridinium spp.	5	10	15	
9	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		10		
10			Mallomonas spp.	+	+	5	
11		ラフィド藻	珪藻	RAHPHIDOPHYCEAE	3	4	
12				Acanthoceras zachariasii			+
13				Asterionella formosa	+	+	40
14				Aulacoseira pusilla	+		+
15				Fragilaria crotonensis	+		
16				Nitzschia sp.			+
17				Ulnaria japonica	25	10	35
18				Urosolenia sp.			5
19				Thalassiosiraceae-5	30	10	65
20				Thalassiosiraceae-10	5		30
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	60	65	75	
22	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.			40	
23			Ankyra spp.	85	230	160	
24			Ankistrodesmus sp.			+	
25			Chodatella quadriseta			5	
26			Closterium spp.	+		5	
27			Coelastrum spp.		+	+	
28			Crucigenia tetrapedia			+	
29			Crucigeniella crucifera			80	
30			Crucigeniella spp.	+		+	
31			Elakatothrix sp.		+		
32			Micractinium sp.			40	
33			Oocystis spp.	220	210	230	
34			Pediastrum duplex			+	
35			Pediastrum simplex			48	
36			Pediastrum tetras			6	
37			Scenedesmus acuminatus			40	
38			Scenedesmus bicaudatus		+		
39			Scenedesmus spp.	50	50	160	
40			Schroederia spp.	5		10	
41			Yamagishiella unicocca	+			
42				CHLOROPHYCEAE	325	155	280
43			節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+
44	輪形動物	輪虫	Keratella sp.			+	
45			Polyarthra spp.	+	+		
46			Synchaeta sp.			+	
47			Trichocercidae	+		1	
48	繊毛虫	キネトフラク*ミノフォーラ	Coleps sp.			+	
49			貧膜口	SESSILIDA			+
50		多膜口	Tintinnopsis spp.	1		+	
51			POLYHYMENOPHORA	15	+	+	
52			—	CILIOPHORA		5	
53	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+		+	
54	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	+	20	20	
55			鞭毛藻	10	20	40	
56			鞭毛虫	+	10	40	

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2020.6.9	2020.6.9	2020.6.9
総数		935	884	1715
種類組成	藍藻	0	0	30
	クリプト藻	95	75	210
	渦鞭毛藻	6	10	15
	黄金色藻	0	10	5
	珪藻	60	20	175
	ユーグレナ藻	60	65	75
	その他の植物性	13	44	60
	動物性	16	15	41
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2020.7.9	2020.7.9	2020.7.9		
採取時刻			11:10	11:59	10:00		
全水深(m)			19.3	15.8	15.6		
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(+)	(425)		
2			Aphanothece spp.	(20)	(75)		
3			Microcystis aeruginosa		20		
4			Microcystis viridis		+		
5			Microcystis wesenbergii		+		
6			Pseudanabaena mucicola		(+)		
7			Pseudanabaena spp.		(5)		
8			Nostocaceae		(+)		
9			CHROOCOCCALES		(10)		
10			OSCILLATORIALES		(5)		
11	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	625	150	900	
12	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		+		
13			Gymnodinium sp.		+		
14			Peridinium spp.	50	30	60	
15	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		5		
16			Mallomonas spp.	10		80	
17		黄緑藻	XANTHOPHYCEAE		+		
18		ラフィド藻	RAHPHIDOPHYCEAE	1	1	6	
19		珪藻	Acanthoceras zachariasii	+		15	
20			Aulacoseira ambigua	105	+	+	
21			Aulacoseira pusilla	10	5	10	
22			Aulacoseira granulata	+	+	80	
23			Fragilaria crotonensis	+			
24			Nitzschia acicularis	35		+	
25			Nitzschia spp.	15	10	30	
26			Ulnaria japonica	5		+	
27			Ulnaria sp.	+			
28			Urosolenia spp.	5		+	
29			Thalassiosiraceae-5	325	110	275	
30			Thalassiosiraceae-10	80	35	55	
31	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20	10	80
32	緑色植物		緑藻	Ankyra spp.		10	
33		Ankistrodesmus sp.		+			
34		Chodatella quadriseta		5			
35		Closterium spp.				10	
36		Crucigenia lauterbornii		+			
37		Crucigeniella crucifera				360	
38		Elakatothrix sp.		+			
39		Eudorina spp.				208	
40		Golenkinia sp.			5		
41		Micractinium spp.		+		+	
42		Monoraphidium spp.		10		10	
43		Oocystis spp.			+	+	
44		Pandorina morum		16	+	+	
45		Pediastrum duplex		+		+	
46		Pediastrum tetras		+		40	
47		Pleodorina sp.		64			
48		Scenedesmus bicaudatus		20			
49		Scenedesmus spp.		20	+	30	
50		Schroederia spp.		5		20	
51		Staurastrum sp.		+			
52		Tetraedron spp.		5	+		
53		Yamagishiella unicocca		192	+	288	
54		CHLOROPHYCEAE	80	140	155		
55	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+	1	
56	輪形動物	輪虫	Keratella sp.		+		
57			Polyarthra spp.	5		3	
58			Trichocercidae			+	
59	繊毛虫	キネトフラグミノーゾア	Coleps spp.	+		3	
60			Tintinnidium spp.	6	+	3	
61		多膜口	Tintinnopsis spp.			4	
62		POLYHYMENOPHORA	10	5	5		
63		—	CILIOPHORA	+	15	15	
64	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+		
65	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	25	100	
66			鞭毛藻	50	100	100	
67			鞭毛虫	50		50	

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2020.7.9	2020.7.9	2020.7.9
総数		2009	651	3541
種類組成	藍藻	35	10	530
	クリプト藻	625	150	900
	渦鞭毛藻	50	30	60
	黄金色藻	10	0	85
	珪藻	580	160	465
	ユーグレナ藻	20	10	80
	緑藻	417	145	1131
	その他の植物性動物性	201	126	206
		71	20	84
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2020.8.3	2020.8.3	2020.8.3	
採取時刻			9:52	10:40	9:00	
全水深(m)			19.0	15.7	15.5	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(75)	(25)	(75)
2			Aphanocapsa spp.	(+)	(5)	(10)
3			Aphanothece sp.	(5)		
4			Merismopedia spp.	(10)	(25)	(15)
5			Microcystis aeruginosa	105	1600	1550
6			Microcystis viridis	+	+	+
7			Microcystis wesenbergii			+
8			Pseudanabaena mucicola	(+)		(+)
9			Nostocaceae	(+)	(+)	(+)
10			CHROOCOCCALES		(+)	
11			OSCILLATORIALES		(15)	(15)
12	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	60	75	680
13	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella			1
14			Peridinium spp.	35	5	35
15	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	5	5
16			ラフィド藻	RAHPHIDOPHYCEAE		
17		珪藻	Acanthoceras zachariasii	5	40	5
18			Aulacoseira granulata	+	+	30
19			Fragilaria crotonensis	+	65	135
20			Nitzschia fruticosa			20
21			Ulnaria japonica	5	10	15
22			Urosolenia sp.		5	
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	45	25	65
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+	+
25			Ankyra spp.	60	70	10
26			Dictyosphaerium spp.	+	20	+
27			Elakatothrix spp.	+	15	+
28			Eudorina spp.	+	264	16
29			Micractinium spp.		80	+
30			Monoraphidium sp.	5		
31			Oocystis spp.	110	45	40
32			Pandorina morum	8	48	8
33			Schroederia spp.	10	10	
34			Staurastrum spp.		+	1
35			Volvox sp.			+
36			Yamagishiella unicocca	32	192	32
37	CHLOROPHYCEAE	60	180	480		
38	輪形動物	輪虫	Keratella sp.			+
39			Polyarthra sp.		+	
40			Trichocercidae			+
41	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+	
42			POLYHYMENOPHORA	20	10	5
43		—	CILIOPHORA			15
44	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA			+
45		真正太陽虫	HELIOZOA	+		+
46	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	250	200	400
47			鞭毛藻	200	350	450
48			鞭毛虫	50	50	100

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2020.8.3	2020.8.3	2020.8.3
総数		1165	3434	4215
種類組成	藍藻	210	1670	1665
	クリプト藻	60	75	680
	渦鞭毛藻	35	5	36
	黄金色藻	0	5	5
	珪藻	10	120	205
	ユーグレナ藻	45	25	65
	緑藻	285	924	587
	その他の植物性動物性	450	550	852
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2020.9.1	2020.9.1	2020.9.1	
採取時刻			10:36	11:06	10:00	
全水深(m)			17.9	14.5	14.4	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(+)	(+)	
2			Aphanocapsa spp.	(210)	(150)	(80)
3			Aphanothece spp.	(10)	(5)	
4			Cuspidothrix spp.	(135)	(210)	(115)
5			Microcystis aeruginosa	19700	32250	24850
6			Pseudanabaena mucicola		(5)	
7			Pseudanabaena sp.	(+)		
8			Radiocystis spp.	(+)		(5)
9			Snowella spp.	(10)		(+)
10			Woronichinia sp.	(+)		
11			Nostocaceae	(200)	(290)	(230)
12			Pseudanabaenaceae	(15)	(20)	(15)
13			CHROOCOCCALES	(20)	(20)	(5)
14			OSCILLATORIALES	(1200)	(650)	(850)
15	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	60	750	35
16	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	5	7	4
17			Peridinium spp.	45	20	270
18	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	10	5	300
19			珪藻	Acanthoceras zachariasii	30	5
20		Aulacoseira pusilla		20		10
21		Aulacoseira granulata		+		
22		Fragilaria spp.		270	100	400
23		Nitzschia acicularis		+	5	10
24		Nitzschia fruticosa			+	
25		Nitzschia spp.		5	5	10
26		Urosolenia spp.		45	15	25
27		ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+	
28	Trachelomonas spp.			15	10	20
29	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	40		80
30			Ankyra spp.	310	70	65
31			Chlorogonium spp.	+		+
32			Closterium sp.	+		
33			Coelastrum sp.		+	
34			Crucigenia tetrapedia			80
35			Crucigenia sp.			40
36			Crucigeniella crucifera	40		
37			Dictyosphaerium spp.	140	+	+
38			Elakatothrix spp.	10	70	30
39			Eudorina spp.	+	+	+
40			Monoraphidium spp.	25	10	25
41			Mougeotia spp.	+	+	105
42			Oocystis spp.	20		45
43			Pediastrum duplex	8		
44			Pediastrum simplex		+	
45			Scenedesmus spp.		30	
46			Schroederia spp.	5		+
47			Staurastrum spp.	+	+	+
48			Treubaria spp.	5	5	5
49				CHLOROPHYCEAE	95	135
50	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+	
51	輪形動物	輪虫	Trichocercidae	+		
52			EUROTATOREA		+	
53	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	10	5	10
54			CILIOPHORA	35	10	15
55	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	+		
56			真正太陽虫	HELIOZOA	+	
57	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	20	10	80
58			鞭毛藻	10	10	10
59			鞭毛虫		30	20

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2020.9.1	2020.9.1	2020.9.1
総数		22778	34907	28249
種類組成	藍藻	21500	33600	26150
	クリプト藻	60	750	35
	渦鞭毛藻	50	27	274
	黄金色藻	10	5	300
	珪藻	370	130	460
	ユーグレナ藻	15	10	20
	その他の植物性	30	20	90
	動物性	45	45	45
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2020.10.5	2020.10.5	2020.10.5	
採取時刻			10:13	10:41	9:42	
全水深(m)			19.3	14.8	14.8	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(+)	(10)	
2			Coelosphaerium sp.	(+)		
3			Cuspidothrix sp.		(+)	
4			Microcystis aeruginosa	205	640	70
5			Pseudanabaena mucicola	(+)		
6			Nostocaceae	(+)		
7			OSCILLATORIALES	(65)	(20)	(25)
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	165	410	
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	+	5	
10			Peridinium spp.	45	100	100
11	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	10	50	40
12		ラフィド藻	RAHPHIDOPHYCEAE	4	34	1
13		珪藻	Acanthoceras zachariasii	5	+	
14			Aulacoseira pusilla		10	
15			Aulacoseira granulata	+		+
16			Ulnaria japonica	+	5	5
17			Urosolenia spp.	+		+
18			Thalassiosiraceae-10	+	5	
19			Thalassiosiraceae-25		+	+
20			BACILLARIOPHYCEAE			
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20	50	35
22	緑色植物	緑藻	Closterium spp.		10	10
23			Coelastrum sp.	+		
24			Crucigeniella crucifera		+	
25			Dictyosphaerium sp.		+	
26			Elakatothrix sp.			+
27			Eudorina spp.	160	64	
28			Mougeotia sp.	+		
29			Oocystis spp.	+		20
30			Pediastrum duplex		+	+
31			Pediastrum tetras			+
32			Scenedesmus spp.	70	10	+
33			Schroederia spp.	50	30	40
34			Staurastrum spp.	+	2	+
35			Yamagishiella unicocca		160	+
36	CHLOROPHYCEAE		115	15	40	
37	節足動物	甲殻	CRUSTACEA	+	+	+
38	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	1	+	
39			Trichocercidae		1	
40	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.	1	1	5
41			POLYHYMENOPHORA	10	10	10
42			CILIOPHORA			+
43	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	5		+
44	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	25		25
45			鞭毛藻	25	50	

採取地点		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2020.10.5	2020.10.5	2020.10.5
総数		981	1682	606
種類組成	藍藻	270	660	105
	クリプト藻	165	410	170
	渦鞭毛藻	45	105	100
	黄金色藻	10	50	40
	珪藻	5	20	5
	ユーグレナ藻	20	50	35
	その他の植物性	395	291	110
	動物性	54	84	26
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2020.11.4	2020.11.4	2020.11.4
採取時刻			10:33	9:45	11:25
全水深(m)			19.5	15.4	15.3
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Microcystis wesenbergii	+	
2			Nostocaceae		(5)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	95	70 120
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	+	
5			Gymnodinium sp.		+
6			Peridinium spp.	10	+
7	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	35	30 60
8		ラフィド藻	RAHPHIDOPHYCEAE	2	14 7
9		珪藻	Acanthoceras zachariasii	5	5
10			Aulacoseira ambigua	+	+
11			Aulacoseira pusilla		+
12			Aulacoseira granulata	+	+
13			Urosolenia spp.	10	5 10
14			Thalassiosiraceae-5	20	20 30
15			Thalassiosiraceae-10	75	35 70
16			Thalassiosiraceae-25	+	+
17			BACILLARIOPHYCEAE	5	
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	10	15 30
19	緑色植物	緑藻	Closterium spp.	20	5 10
20			Coelastrum spp.		+
21			Crucigeniella crucifera	40	80
22			Eudorina spp.		+
23			Oocystis spp.	35	+
24			Pediastrum tetras		8
25			Scenedesmus spp.	20	20
26			Schroederia spp.		5 +
27			Staurastrum spp.	3	
28			Yamagishiella unicocca	+	
29			CHLOROPHYCEAE	35	40 215
30	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+
31	輪形動物	輪虫	Keratella sp.	+	
32			Polyarthra sp.		1
33			Synchaeta sp.		+
34			EUROTATOREA		1
35	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.	+	+
36		-	CILIOPHORA	10	+
37	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	+	
38	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	25	25 50
39			鞭毛藻	25	25 25
40			鞭毛虫	50	25

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2020.11.4	2020.11.4	2020.11.4
総数		530	295	918
種類組成	藍藻	0	5	0
	クリプト藻	95	70	120
	渦鞭毛藻	10	0	0
	黄金色藻	35	30	60
	珪藻	115	60	115
	ユーグレナ藻	10	15	30
	その他の植物性動物性	153	50	485
		60	64	82
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2020.12.2	2020.12.2	2020.12.2	
採取時刻			10:45	10:15	11:13	
全水深(m)			18.8	15.2	14.8	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	OSCILLATORIALES	(5)	(+)	
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	45	85	
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	1		
4	不等毛植物	黄金色藻 珪藻	Mallomonas spp.	+	5	
5			Amphora sp.	+		
6			Aulacoseira ambigua		+	+
7			Aulacoseira pusilla		+	10
8			Aulacoseira granulata	+	+	+
9			Thalassiosiraceae-5	30	25	80
10			Thalassiosiraceae-10	25	5	20
11			Thalassiosiraceae-25	5	+	+
12	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+		
13			Trachelomonas spp.	20	20	
14	緑色植物	緑藻	Chlorogonium sp.		+	
15			Closterium spp.	2	+	16
16			Coelastrum spp.	+	5	120
17			Crucigeniella crucifera			+
18			Elakatothrix sp.			+
19			Eudorina spp.	+	+	
20			Micractinium sp.	+		
21			Oocystis spp.	+	15	+
22			Pediastrum tetras	+		
23			Scenedesmus spp.		+	10
24			Schroederia sp.			5
25			Staurastrum sp.	+		
26			CHLOROPHYCEAE		20	95
27	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.		+	
28	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	+	+	
29			Tintinnopsis spp.	+	+	
30			真正太陽虫	HELIOZOA	+	
31	不明プランクトン		鞭毛藻	20	10	
32			鞭毛虫		10	
総数			168	280	386	
種類組成			藍藻	0	5	
			クリプト藻	45	85	
			渦鞭毛藻	1	0	
			黄金色藻	0	5	
			珪藻	60	30	
			ユーグレナ藻	20	20	
			緑藻	22	115	
			その他の植物性	20	10	
			動物性	0	10	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考			<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2021.1.12	2021.1.12	2021.1.12
採取時刻			11:19	10:39	11:42
全水深(m)			19.3	14.9	15.0
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia spp.	(+)	(5)
2			OSCILLATORIALES	(+)	
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	75	190
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5	+
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		+
6			Mallomonas sp.		5
7			Synura spp.	5	14
8		珪藻	Aulacoseira ambigua	+	82
9			Aulacoseira pusilla	34	+
10			Aulacoseira granulata		+
11			Stausosirella berolinensis	+	
12			Ulnaria japonica	2	1
13			Thalassiosiraceae-5	160	50
14			Thalassiosiraceae-10	15	10
15			Thalassiosiraceae-25	5	+
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+	
17			Trachelomonas spp.	5	20
18	緑色植物	緑藻	Closterium spp.	8	8
19			Monoraphidium sp.	5	
20			Scenedesmus acuminatus		20
21			Scenedesmus spp.	+	+
22			Tetraedron sp.		5
23			CHLOROPHYCEAE	15	15
24	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		+
25	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	+
26			Tintinnopsis sp.		+
27			POLYHYMENOPHORA	10	
28			CILIOPHORA	5	10
29	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	10	+
30			鞭毛藻		+
31			鞭毛虫	10	10
総数			370	435	900
種類組成			藍藻	0	0
			クリプト藻	75	190
			渦鞭毛藻	5	0
			黄金色藻	5	14
			珪藻	216	143
			ユーグレナ藻	5	20
			緑藻	28	48
			その他の植物性	10	0
			動物性	26	20
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 		

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2021.2.1	2021.2.1	2021.2.1
採取時刻			9:36	9:03	10:03
全水深(m)			19.8	15.3	15.5
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia sp.	(+)	
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	25	330 120
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	10	30 80
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	15 5
5			Synura spp.	+	+
6		珪藻	Asterionella formosa	+	+
7			Aulacoseira ambigua	+	+
8			Aulacoseira pusilla	+	+
9			Cymatopleura solea		1
10			Nitzschia sp.	+	
11			Ulnaria japonica	1	10 +
12			Thalassiosiraceae-5	10	5
13			Thalassiosiraceae-10	40	25 90
14			Thalassiosiraceae-25	+	
15	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Euglena spp.	
16			Trachelomonas spp.	300	700 475
17	緑色植物	緑藻	Closterium spp.	5	4 1
18			Eudorina sp.		32
19			Oocystis sp.	+	
20			Scenedesmus sp.	20	
21			CHLOROPHYCEAE	60	130 135
22	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+
23	輪形動物	輪虫	Synchaeta spp.	+	+
24	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA	1	
25			Tintinnidium spp.	4	5 +
26		多膜口	Tintinnopsis spp.		+
27			POLYHYMENOPHORA		+
28			—	CILIOPHORA	20
29	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		5
30	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	50	175 50
31			鞭毛藻	25	50 25
32			鞭毛虫	25	75 25
総数				596	1602 1121
種類組成			藍藻	0	0 0
			クリプト藻	25	330 120
			渦鞭毛藻	10	30 80
			黄金色藻	0	15 105
			珪藻	51	41 90
			ユーグレナ藻	300	705 480
			緑藻	85	166 136
			その他の植物性	75	225 75
			動物性	50	90 35
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2021.3.1	2021.3.1	2021.3.1
採取時刻			9:46	9:15	10:27
全水深 (m)			19.5	15.3	15.4
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Microcystis aeruginosa	+	
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	180	550 240
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	35	35 25
4	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.		20 55
5			Mallomonas akrokomos	5	10 5
6			Mallomonas spp.	15	25 45
7			Synura spp.	245	190 85
8		珪藻	Asterionella formosa	40	95 +
9			Aulacoseira ambigua	+	+
10			Aulacoseira pusilla	25	+
11			Fragilaria sp.		10 +
12			Melosira varians		+
13			Nitzschia acicularis		+
14			Nitzschia spp.	+	+
15			Skeletonema potamos	30	
16			Ulnaria japonica	5	+
17			Thalassiosiraceae-10	60	55 190
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Phacus sp.		+
19			Trachelomonas spp.	440	700 425
20	緑色植物	緑藻	Closterium spp.	5	20 10
21			Elakatothrix spp.	30	20
22			Eudorina sp.		+
23			Oocystis spp.	60	+
24			Pandorina morum	+	32 +
25			Scenedesmus spp.	+	100 +
26			CHLOROPHYCEAE	875	800 1425
27	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.	+	
28			EUROTATOREA		+
29	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	5	10 3
30		多膜口	Tintinnidium spp.	3	5 1
31			Tintinnopsis spp.	+	+
32			POLYHYMENOPHORA	20	15 10
33		-	CILIOPHORA	10	25 5
34	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	100	100 250
35			鞭毛藻	200	200 300
36			鞭毛虫	50	200 200
総数			2438	3217	3274
種類組成			藍藻	0	0 0
			クリプト藻	180	550 240
			渦鞭毛藻	35	35 25
			黄金色藻	265	245 190
			珪藻	160	160 190
			ユーグレナ藻	440	700 425
			緑藻	970	972 1435
			その他の植物性	300	300 550
			動物性	88	255 219
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコムは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 		